

軍拡よりいのち・暮らし応援



希望の未来へ

日本共産党
参議院議員

紙 智子

国会報告



この国には食を守る気概はないのか！

初めての子牛が生まれたときの感動。下に潜り搾乳したときの感動。
いま牛乳を捨てざるを得なくやささを語る牛飼いは怒りに震える。
食だけではない。戦争する国づくりに舵をきった岸田政権。
いのち・食・農こそを大切にする国を。戦争させない国を共同の力で。

国民切り捨ての 岸田政権と対決

政治とカネ

領収書偽造疑惑が明らかになった寺田稔総務相。政治資金や選挙制度を所管する「総務大臣の資格がない」と辞任を迫り、3人の閣僚辞任の任命責任を問い、岸田内閣の総辞職を求めました。



経済・コロナ対策

アベノミクス・新自由主義による労働法制の規制緩和で非正規雇用を増やし、日本を「賃金が上がらない国」にしたと指摘。大企業の内部留保を時限的に活用した最低賃金の引き上げ、消費税減税、インボイス導入の中止、コロナ対策を求めました。

酪農・畜産の灯を消すな！ 国からの直接補てんを

飼料等の生産資材が高騰しても乳価があがらず赤字。酪農・畜産農民を守ることが緊急課題です。紙議員は、対話と共同を広げ、農民運動全国連合会(農民連)の農水相あて「緊急要望」(大臣への直訴行動)や農林水産省前の要請行動にも積極的に参加。小池晃書記局長、田村貴昭衆議院議員(農林水産部会長)とともに、「酪農・畜産の灯を消すな!」「資材価格高騰分の直接補てんを」と論戦や農林水産大臣に申し入れました。



農水省前で日本の酪農畜産を守れとアピール=11月30日



全国食健連の中央行動=12月9日

原発汚染水の海洋放出は許さない！

紙議員は、「原発汚染水放出するな!」と「ふくしま復興共同センター」と共同し、全国に避難した被害者の訴訟原告団全国連絡会と運動し、世論を広げています。



訴訟全国連絡会の集会=11月24日

水田活用交付金の見直しを白紙に

水田活用交付金の見直しの「撤回」「中止」を求める意見書が参議院に182件提出されました。見直しは白紙に戻し、家族農業への手厚い支援を要望しています。

「農業集落調査」は継続を

紙議員は、農林水産省が60年以上実施してきた「農業集落調査」を廃止する方針を打ち出したことを受けて、13以上の学会が継続を求める声明を出し、ネット署名が1,000以上集まっていることから、「廃止方針は取り下げるべきだ」と求めています。



仙台市若林区農業シンポ=8月28日

北海道赤潮被害対策の継続求め 補正予算に15億円計上

2021年9月に、北海道道東地域太平洋沿岸で初めて赤潮被害が発生してから1年が過ぎました。紙議員は、継続した被害対策を求め、補正予算で「北海道赤潮対策緊急支援事業」(15億円)がつきました。



国立中央水産研究所で不漁、温暖化について視察=8月30日

国際交流

11月1日に日本・EU議員会議。11月3日は笠井亮衆議院議員と日韓・韓日議員連盟合同総会(ソウル・写真右)、12月13日は韓日議連女性会議に参加しました。



元島民支援、漁業の安全操業の確保を

2022年のロシアによるウクライナ侵略は、北方4島元島民や口漁業に大きな影響を与えています。紙議員は「近くて遠いふるさとは見えていても帰ることができずに77年。ふるさとを取り戻す行動を続ける」「ウクライナの人々が着の身着のままで避難する姿は自身に重なる」との声を紹介し、元島民への支援と漁業の継続的な安全操業を求めています。



北方領土返還要求で根室市議団と合流=12月1日

アイヌの権利を回復する取り組みを推進

日本共産党北海道委員会・十勝地区委員会の「アイヌ民族の人権を考える集会」に参加。アイヌ民族の刺繍「古布絵(こふえ)」作家で詩人の宇梶静江さんをはじめ関係者と懇談。北海道で「アイヌ高齢者(エカシ、フチ)への特別支援」を求める新たな運動が始まりました。



アイヌ民族の人権を考える十勝集会=10月15日



宇梶静江さんと懇談=9月6日

道民の願い実現を、国へ要望

日本共産党北海道委員会・道議団とともに地域医療体制、最低賃金、福祉灯油、新幹線など、12省庁への政府要請。国会では、日米合同演習(レゾリュート・ドラゴン 22)の中止、コロナ病床対策、風呂なし公営住宅問題などの論戦を行いました。



道防衛局に道議団、札幌市議団と日米共同訓練の中止を要請=9月9日

全国と北海道の鉄道網の維持へ

紙議員は、党国会議員団の「JRローカル線等鉄道の存続・再生により、持続可能な地域社会をめざす対策チーム」に参加。路線廃止が先行している北海道で、日本共産党北海道委員会とともに、鉄道の維持を求める運動を進めています。



北海道道議団と国土交通省に要請=10月27日